

川崎区地域自立支援協議会

<川崎区自立支援協議会の特徴>

- ① 川崎区は市内の区の中で一番面積が広く保健福祉センターと2つの支所があり、事業所も多い為、多数の構成員で形成されている。
- ② 月に1回の協議会を開催している。全体での意見交換会の他に各グループでの委員会活動を行い、協議会を盛り上げている。

<今年度の目標と方向性>

- ① 毎月の全体会議の中で、ひとつのテーマに対して小グループに分かれて「意見交換会」を行い、様々な立場や職種で多角的にテーマについて検討し、共有をはかる。
- ② 意見交換会で出された課題等については、課題整理ワーキンググループへつなげ、市内での共有を目指す。
- ③ 「災害対策」「子ども」「暮らし」という3委員会に分かれ、地域性を意識した内容で地域生活を営む上での課題を共有し、明らかにしていく。

<今年度の区全体会議>

第1回 4月9日(火) 14:00~17:00 川崎区役所にて

各事業所の担当自己紹介と事業所紹介

今年度の自立支援協議会について

- ①昨年度の報告
- ②今年度の全体運営内容について
- ③委員会活動 ~今年度の活動方針~

その他

あおぞら共生会より平成25年5月に新設される事業所の紹介

第2回 5月14日(火) 14:00~17:00 川崎区役所にて

新規事業所自己紹介と事業所紹介

- ①川崎区の事務局会議の報告と提案

昨年度の協議会の反省から、今年度は「意見交換」という形で話し合い、その中から課題整理グループに報告していくことを提案し了承を得られる。

- ②委員会活動

その他

会場の川崎区役所が手狭なため、次回からは、南部身体障害者福祉会館となる。

第3回 6月11日(火) 14:00~17:00 南部身体障害者福祉会館にて

- ①意見交換会「障害福祉について困り事、悩み事などの意見を出し合う」

「運営主体が変わる南部療育センターの動向」

「事業所の送迎車盗難について」 などの情報交換、共有をする。

②委員会活動

その他

難病についての連絡会議（7月10日実施）の案内

第4回 7月9日（火）14：00～17：00 南部身体障害者福祉会館にて

①課題整理ワーキンググループからの報告

②意見交換会「精神疾患の方への栄養指導」「学齢時の放課後支援」「送迎」
「親子の高齢化」

③委員会活動

その他

手をつなぐ体育祭の参加団体への呼びかけ

川崎区内の地域活動支援センターへの声掛け案内について

「くさぶえの家 短期訓練事業」の説明について

第5回 8月6日（火）14：00～17：00 南部身体障害者福祉会館にて

事業所の紹介「くさぶえの家 短期訓練事業」

地域活動支援センターへの参加の声掛けについて

①意見交換会 「親子の高齢化 ～事例を通して～」

②委員会活動

その他

プラダー・ウイリー症候群研修会の案内

第6回 9月10日（火）14：00～17：00 南部身体障害者福祉会館にて

①意見交換会 「親子の高齢化 ～前回のまとめ～」

第5回・6回の内容をまとめ、課題整理ワーキンググループに提案する。

②委員会活動

第7回 10月8日（火）14：00～17：00 南部身体障害者福祉会館にて

①意見交換会 「虐待ケースについて」

②委員会活動

その他

田島養護学校より、公開授業についての案内

<具体的な取り組み内容>

1、川崎区の課題について（今年度の構成員による意見交換会をもとに設定）

①親子の高齢化

川崎区の特徴ともいえる、親子の高齢化。高齢の親世代の考え方（制度を利用せず、自

分たちで育てていく。)など考慮し、困り感のない、他者の介入を拒むケースについて事例を基に検討している。支援する側として、どのようなことに配慮すべきか(生活実態の把握・親子分離の必要性や介入のタイミング・関係機関の連携など)、本当に介入が必要なのかどうか。「親亡き後」について考えることができていない対象者に対して、そのような言葉を伝えるだけでも漠然とした不安を与えてしまうことも考えられる。支援者として「親の抱え込み」という見かたではなく、より対象者の気持ちや現状(「できている」)に寄り添う方法を考えていく。

②虐待の疑い・心配のあるケースについて

障害者虐待防止法が制定されて1年が経過している。通報方法や虐待の定義などの研修に、参加している構成員が多い。制度上の壁や通報の実態なども見えてきてはいるが、実際に虐待の疑いや心配のあるケースについてどのような対応を取り、その中で感じた対象者へのケアなどを話し合っている。

2、専門委員会

①こども委員会 ～こどもへの支援の実情を把握しよう～

川崎区の地域性として、外国人の親を持つ障害児が多く、情報が入りにくい状況にある。療育センターにも外国人の利用が多くなってきている。既存の多言語広報誌はあるが、障害児支援に関わるパンフレットがないので作成していく。障害児のための制度や相談支援センターなどの連絡先を入れていく。当事者の方の描いたイラストなどを使用して、より手に取りやすいパンフレットにしていく。

② 防災委員会 ～地域への呼びかけ・周知～

3. 11東北大地震で被災された障害者の方のDVDより、実際の被災された障害者の方の実情を知り、まずは協議会構成員が課題の確認をしていく。支援者としてどのようなことができるのかを共有し、地域で暮らす障害者の方の災害時の援助の仕方や協力について、地域へどのように発信していくのかを考えていく。

③ 暮らし委員会 ～暮らしの中での困り感～

暮らし委員の構成員は通所施設や事業所が多いのが特徴で、各委員が業務の中で感じている悩みや困り感の共有を図る。例えば、父子・母子家庭の異性の子に対する性の教育をどのように行っていくのか、施設で発見した虐待ケースなど。職員の善意や頑張りに対応していることが多く、どのように業務として行えていけるのかを考えていく。

幸区地域自立支援協議会

<幸区地域自立支援協議会の特徴>

① 幸区地域自立支援協議会の構成員について

相談支援事業所（4ヶ所）と保健福祉センターを中心に、障害福祉サービス事業所、特別支援学校、障害児者専門機関、当事者からの参画をいただき、運営しています。

② 幸区地域自立支援協議会実施状況について

事務局会議（月1回）と全体会議（月1回）を実施しています。

事務局会議では、今年度より地域相談支援センター3ヶ所も事務局メンバーとして運営に携わる事となり、基幹相談支援センター、保健福祉センターと共に、全体会議で取り上げる内容、委員会の取り組みなどについて確認を行っています。

全体会議では全体で協議する場と委員会ごとに分かれての活動の2部構成で行っています。

<今年度の目標と方向性>

① 連携委員会

利用者に必要な情報やサービスが得られるよう、地域の体制作りを目指します。昨年度実施した地域包括支援センターとの連携、特別支援学校との連携を引き続き実施します。また、民生委員へのアンケートであがった意見をもとに、民生委員との連携を図りたいと考えています。

② 広報委員会

相談支援改編と幸区地域自立支援協議会の周知を目的に地域市民向けの広報誌作成、川崎市のホームページの活用などの広報活動で幸区地域自立支援協議会の認知度をあげていきます。

③ 当事者委員会

当事者の方が抱えている生活のしづらさ、想いを声に出してもらい、住みやすい地域づくりに向け当事者中心の委員会を目指していきます。今年度は当事者の方が協議会に参加して2年目であり、幸区地域自立支援協議会メンバーとしての意識を改めて確認し、地域で生活する当事者の方々の声を生かし、生の声を発信できる機会を設けていきたいと考えています。

④ 課題整理委員会

福祉サービスにおける様々な課題についてニーズを把握したり、必要に応じて市へ提言するための準備をします。昨年度実施した「成人期のナイトケア」アンケートについて引き続きニーズや課題を分析します。また、地域生活での課題がより多く吸い上げられるような機会を検討、実施し、どんな小さな課題でも、皆で情報を共有して日々の支援に活かしていきたいと考えています。

＜今年度の区全体会議＞

第1回 4月16日（火）15：00～17：00 御幸日中活動センターにて

各事業所の担当自己紹介と事業所紹介
市協議会と区協議会の目的、機能について確認
今年度の自立支援協議会について

- ・ 今年度の年間予定
- ・ 事務局に地域相談支援センターも今年度より参加
- ・ 委員会の確認（昨年度に引き続き継続）
①連携委員会 ②広報委員会 ③当事者委員会 ④課題整理委員会

第2回 5月21日（火）15：00～17：00 御幸日中活動センターにて

各委員会より今後の予定について報告

- ・ 連携委員会：民生委員との連携、地域包括との情報交換についての検討
田島養護学校保護者への説明会検討
- ・ 広報委員会：広報誌内容の検討
- ・ 当事者委員会：当事者の関わりについて検討
- ・ 課題整理委員会：ナイトケアアンケート（昨年度）集計

第3回 6月18日（火）15：00～17：00 御幸日中活動センターにて

幸区福祉避難所ネットワーク協議会について説明
区協議会摘録フォーマット、各委員会記録についての確認
市協議会ワーキンググループ報告

- ・ 連携委員会：民生委員、田島養護学校との連携検討
- ・ 広報委員会：広報誌レイアウト検討
- ・ 当事者委員会：6月24日（月）第1回当事者参加についての打合せ
昨年度振り返り、協議会委員としての役割確認、今年度の方向性確認
- ・ 課題整理委員会：ナイトケアアンケート集計、課題の挙げ方についての検討

第4回 7月16日（火）15：00～17：00 幸区役所内プレハブにて

事例検討
フリートーク（グループに分かれて、課題の抽出）

- ・ 連携委員会：民生委員、田島養護学校との連携進捗状況確認、検討
- ・ 広報委員会：広報誌レイアウト検討
- ・ 当事者委員会：7月29日（月）第2回当事者参加についての打合せ
今年度活動検討（当事者委員として相談支援センターの周知など）
- ・ 課題整理委員会：フリートーク内容のカテゴリー分け

第5回 8月20日(火) 15:00~17:00 御幸日中活動センターにて

市協議会ワーキンググループ報告

区自立支援協議会まとめについての提案、協議

- ・ 連携委員会：田島養護学校 PTA 家庭学級説明会内容、地域包括との交流会内容検討。
- ・ 広報委員会：広報誌作成作業、ホームページ活用検討
- ・ 当事者委員会：8月26日(月)第3回当事者参加についての打合せ
当事者目線のパンフレット内容検討、11月より区内施設3ヶ所、田島養護 PTA 家庭学級(連携委員企画)にて当事者による体験談、協議会での役割などの説明を実施予定。
- ・ 課題整理委員会：カテゴリー分けした課題についての検討

第6回 9月17日(火) 15:00~17:00 御幸日中活動センターにて

区協議会の年間まとめについて、目を通してもらえるようなボリューム感、内容。

共通フォーマットを作成予定。

各委員会で作成するパンフレット類について、ターゲット、内容の重複などはないかの確認作業。

市協議会ワーキンググループ報告

- ・ 連携委員会：田島養護学校 PTA 家庭学級説明会内容、地域包括との交流会内容検討。
- ・ 広報委員会：区協議会パンフレット「わいわいさいわい」作成中。
- ・ 当事者委員会：当事者による体験談原稿作成
- ・ 課題整理委員会：カテゴリー分けした課題についての報告。区内で解決できること、課題整理ワーキングにあげる仕分け。

<具体的な取り組み内容>

○ 全体

- ・ 年度初めに市協議会と区協議会の目的を確認する場を持つ事で、果たすべき役割について共通認識を持つ事ができた。また、全体会議進行を事務局構成員、全体会議記録を区協議会構成員で持ち回りにすることで、区協議会の構成員としての意識を持てるようにしています。
- ・ 各委員会での活動を記録に残し、その記録を全構成員に随時メール配信することで、幸区で取り組んでいる内容を全構成員が把握できるよう努めています。

① 連携委員会

12/6(金)田島養護学校 PTA 学級において保護者向けに出張研修、1/21(火)幸区地域包括支援センターとの意見交換会実施に向けて動いています。民生委員との連携につ

いては会長連絡会に参加し、「何かあった際にどこにつなげればよいのか」「相談センターは何をするのか、パンフレットはないのか」などの困り感があげられた。今後どのような連携をしていくのか、より具体的な動きを検討しています。

② 広報委員会

地域市民向けの広報誌「わいわいさいわい」を作成しています。内容は幸区地域自立支援協議会、各委員会活動の紹介、相談支援センターの紹介です。気軽に手にとってもらえるようコンパクトな3つ折りとし、11月発行予定です。

③ 当事者委員会

「困っている人がいたら相談支援センターを紹介したい」という意見があがり、相談支援センターの紹介、当事者委員の役割説明などについて、当事者が区内施設に直接出向き、当事者自身の体験を伝える予定です。また、当事者の目線でパンフレットを作成し、併せて配布してPRします。連携委員会で企画している田島養護学校PTA学級にも参加予定です。

④ 課題整理委員会

「成人期のナイトケア」について集計した結果、新たな事業の設立ではなく、現在利用している日中活動施設において、延長サービスとしてナイトケアサービスを利用したほうが、安心して安全である、と利用者やご家族が考えていることがわかり、課題整理ワーキンググループを通し、課題として挙げました。また協議会構成員を小グループに分けて「フリートーク」を実施しました。支援上の困り感を打ち明けやすく、また福祉サービスの課題なども出やすく、挙げられた課題を、課題整理委員会が整理し、①幸区内で情報提供や解決できること、②それ以外で課題整理ワーキンググループに挙げるべきこと、に仕分けをする作業をしています。

(文責：小川 尚人)

中原区地域自立支援協議会

<中原区自立支援協議会の特徴>

- ① 保健福祉センターと相談支援事業所を中心に、障害福祉サービス提供事業所、教育機関など構成員も多岐になっています。
- ② 月1回の全体会議に向けて、保健福祉センター・相談支援事業所による事務局会議を毎月実施しています。
- ③ 当事者の方が主催する集いの場「なかはらファミリー」を協議会がバックアップする形で開催しています。準備段階から実行委員の方と打ち合わせを重ね、第5回なかはらファミリーを実施しています。
- ④ 川崎市地域リハビリテーションセンターの再編の動きがあり、既存施設の移転や、改修及び新規施設の整備が行われています。再編整備による民間法人等の指定管理受託で、今後も変化が予想されます。
- ⑤ 今年度は事前に割り振りを行い、各月ごとに各委員会の中から1事例を出し合い検討する機会を設けています。

<今年度の目標と方向性>

① 地域移行委員会

昨年度課題としてあがった地域移行の課題、「地域の受け皿の少なさ」を元に、受け皿となるGH／CHを運営している市内の法人向けに物件確保についてのアンケートを実施します。

また、実際に支援を受けながら地域移行を目指している当事者の方をゲストにお呼びして、地域移行に向けての実際を話していただき、構成員でさらに課題などを検討し、理解を深めていきます。

② まちづくり委員会

中原区での災害対策について検討していきます。

避難所、二次避難所の体制整備、要援護者登録の現状や課題、区内の災害ネットワークを理解し、災害時の障害者への支援のあり方について検討していきます。

③ 児童委員会

昨年度実施したアンケートを集約し、課題の抽出・検討や、実践を通して感じる児童の支援、児童相談支援の課題整理表にて検討します。また、児童に関する行政の体制がわかりにくいといった声から、児童家庭課の方をゲストに招き、児童相談についてお話しいただき理解を深めていきます。

④ なかはらファミリー

昨年度から引き続き、当事者主体の集いの場を後方支援します。

⑤ なかはら健康福祉まつり

地域自立支援協議会のアピールを行います。(当事者にイラストを作成していただき、中原区地域自立支援協議会のゆるキャラを作り、広報活動に使用していく)
また、同時に事業所のボランティア募集を行います。

⑥パンフレット

相談支援センターの名称等が大きく変わったため、新たなものを作成します。

<今年度の区全体会議>

第1回 4月19日(金) 14:00~17:00 中原区役所

- ・自己紹介
- ・平成24年度の活動内容の振り返り
- ・今年度の活動内容・年間予定確認
- ・役割分担

第2回 5月17日(金) 14:00~17:00 中原区役所

- ・区役所からの情報提供
- ・川崎市地域自立支援協議会の報告
- ・専門委員会、渉外・広報活動の話し合い

第3回 6月21日(金) 14:00~17:00 中原区役所

- ・児童委員会…昨年実施したアンケートの考察・課題の抽出
わになろう会より「学齢期の不登校児に対するケア」実践例の報告・検討
- ・地域移行委員会…ケアホームを運営している法人に対して、物件を探す上での問題点等のアンケート実施についての検討(7~8月)
- ・まちづくり委員会…健康福祉局地域福祉部地域福祉課との連携。質問項目の精査(要援護者登録者数、障害種別の対応、二次避難所数など)
- ・なかはらファミリー…実行委員、第5回なからはファミリーの日程の決定。

第4回 7月19日(金) 14:00~17:00 桜の風

- ・桜の風の施設見学、施設概要、ショートステイ機能について説明
- ・地域移行委員会実践例の検討 <ゲストスピーカーをお呼びしての報告会>
~長期入院からの地域移行/『病院から退院してグループホームに入りたい!』~
- ・グループ討議

第5回 8月23日(金) 14:00~17:00 中原区役所

- ・まちづくり委員会…高齢・障害課早坂課長をゲストスピーカーにお呼びして、二次避難所についての質問に対し、回答をいただく。

- ・児童委員会…実践例の検討～ご家族（母）が入院してしまった4歳の児童～
- ・地域移行委員会…アンケートを10月中に送信予定。
- ・なかはらファミリー…日程の決定・報告、チラシの配布
- ・パンフレット…広報グループと連携し、パンフレット作成。年間まとめ冊子の検討。
- ・なかはら福祉健康まつり → ゆるキャラのプリントTシャツ作成を検討。

第6回 9月20日（金） 14：00～17：00 中原区役所

- ・児童家庭課サポート担当青木氏より業務内容や対象者などについて
- ・児童関係各事業所より（わになろう会・ドナルド・療育センター）
- ・児童委員会より実践例の検討／療育センター杉田氏より
- ・実践例の発表を聞いてグループ討議

<部会の中間報告>

① 地域移行委員会

医療機関からの地域移行に向けて取り組んでいる支援者、当事者からの講演から、いくつかの課題があがりました。

- ・入院中に利用できるサービスの少なさ。
- ・退院に向けて、日中活動先と住まいの両方が同時に変更してしまうのは、本人に負担感が大きいのではないか。
- ・知的障害の方だと、グループホームの入居条件が週5日の通所先がある人が条件となってしまう、それが難しいため、グループホームの利用が必要な方が一人暮らしを選択せざる負えない状況にある。
- ・退院に向けてショートステイの利用を積み重ねていくなどの経験ができれば、徐々にグループホームの利用以外の選択肢の可能性も広がるのではないか。

② まちづくり委員会

- ・地域福祉課に質問事項の返答をいただき、避難所の体制について知ることができた。今後、地域包括支援センターからお話を伺い、高齢分野での中原区の災害時の支援の体制について理解し、障害者の支援体制も検討していきたい。

③ 児童委員会

- ・全体会議で、児童家庭課サポート担当の方から説明をいただき、今後の連携の在り方がわかりました。また区内の児童のサービス事業所より説明をいただき、児童のサービスや制度についての理解し、課題について整理しました。
- ・課題として、児童のショートステイの不足、通学に伴う送迎の課題、ヘルパー不足が挙げられます。

高津区 地域自立支援協議会

<高津区地域自立支援協議会の特徴>

- ① 相談支援事業所と保健福祉センターを中心に、構成員は29名となっております。月1回の全体会議にむけて、事務局会議（準備会）を実施しています。全体会議の流れは、各種会議の報告及び課題の検討、個別支援経過報告（事例発表）、各専門委員会の取り組みとなっております。
- ② 各専門委員会の取り組みは、3つに分かれており（相談支援・課題整理・ボランティア）、それぞれの専門委員会が中・長期的な目標（一昨年度、5年計画を立て、5年後高津区が障害のある方にとって身近な住みよい場所になるようにという目標に向かって取り組んでいます）に向かって、鼎立しています。今年度は3年目の取り組みになります。

<今年度の目標と方向性>

- ① まず、中・長期的な目標に向かって、3年目の取り組みを、具体的な活動を発信できる年度と捉えています。また、地域との交流会等を実施し、地域との交流を深めます。
- ② 個別支援経過報告（事例発表）は、毎月実施します。年間スケジュールに従い、各構成メンバーが各分野からの課題点を共有できるように配慮します。
- ③ 各専門委員会の動きが不透明にならないように、定期的な報告を実施します。各専門委員会の取り組みで、他の委員会との連携が必要な場面では、協力を依頼する体制作りを行います。

<今年度の区全体会議>

第1回 4月23日（火）13：30～17：00 高津区役所にて

- ◎構成員メンバーの自己紹介
- ◎今年度の協議会組織構成の確認 全体会議での役割分担の確認（進行、記録、事例提出の分担）
- ◎昨年度までの取り組み内容の確認
- ◎各専門委員会の取り組み（①相談支援 ②課題整理 ③ボランティア）

第2回 5月28日（火）13：30～17：00 高津区役所にて

- ◎各構成員からの課題提出・新年度の動きの報告
- ◎各種会議等報告（①市事務局会議②市全体会議③高津区まちづくり協議会）
まちづくり協議会の「区内福祉施設めぐりエコバスツアー」に協力。
- ◎検討事項（新規指定特定相談支援事業者の参加について）
- ◎市協議会ワーキングG参加について確認
- ◎個別支援経過報告（精神疾患をもつ女性の支援）

◎各専門委員会の取り組み（①相談支援 ②課題整理 ③ボランティア）

第3回 6月25日（火）13：30～17：00 高津区役所にて

◎各種会議等報告（①高津区まちづくり協議会②桜の風入所調整会議）

◎就労継続支援B型の取り扱いの変更について確認

◎個別支援経過報告（障害福祉サービスから介護保険サービスへの利用移行者について）

◎各専門委員会の取り組み（①相談支援 ②課題整理 ③ボランティア）

第4回 7月23日（火）13：30～17：00 高津区役所にて

◎各種会議報告（①事務局会議②基幹相談支援センター運営会議③市協議会課題整理ワーキング④広報ワーキング）

◎各専門委員会からの報告・提案（各委員会のテーマや活動計画について情報共有。課題整理委員会より、課題抽出方法について議事録を書く時点で記入する方法にすることと提案、全体で確認）

◎個別支援経過報告（自閉傾向でホーム近隣の方とのトラブルのある方）

◎各専門委員会の取り組み（①相談支援 ②課題整理 ③ボランティア）

第5回 8月27日（火）13：30～17：00 高津区役所にて

◎各種会議報告（①事務局会議②まちづくり協議会③高津区福祉避難所ネットワーク会議）

◎各専門委員会からの報告・提案（課題整理委員会より、出前講座の中での役割分担について提案）

◎検討事項（まちづくり協議会 交流会について）

◎確認事項①（夏休みを楽しく過ごす会）②（特定指定事業者2事業者が9月より協議会参加と確認）

◎個別支援経過報告（家庭環境の変化によりサービスを開始した方）

◎各専門委員会の取り組み（①相談支援 ②課題整理 ③ボランティア）

第6回 9月24日（火）13：30～17：00 高津区役所にて

◎各種会議報告（①事務局会議②課題整理ワーキング③広報ワーキング）

◎各専門委員会からの報告、提案（①相談支援・・・冊子の内容について検討中 ②課題整理・・・出前講座はメニュー作成中。年内に実施予定 ③ボランティア・・・ボランティアセンター立ち上げについてボランティア団体と打ち合わせ中。具体的内容を詰めているところ）

◎確認事項（10月 ケアマネ連絡会との交流会の内容について）

◎個別支援経過報告（養護学校の教育目標や内容など）

◎各専門委員会の取り組み（①相談支援 ②課題整理 ③ボランティア）

<具体的な取り組み内容>

◎相談支援専門委員会

現在、それぞれの年齢に合わせた制度やサービスのガイドブックはありますが、合わせたものがあまりないことから、児童期から高齢に至るまでをまとめた冊子を作成しようと検討中です。平成 27 年度に活用できる形になるようにすることが目標です。

◎課題整理専門委員会

区協議会の会議で課題として気づいた時に記入できるよう、議事録用紙を兼ねた記録用紙の使用を開始しています。また、昨年度課題としてあがったヘルパー不足から、ヘルパー事業所に対する出前講座を実施することにし、12月開始に向け準備中です。

◎ボランティア専門委員会・・・平成 26 年 4 月にボランティアセンターを立ち上げることを目指して活動中です。一昨年度、昨年度に社会福祉協議会と共催で実施したボランティア講座の参加メンバーが立ち上げたボランティア団体に協力してもらいながら、どのような形にするかを検討しています。

宮前区地域自立支援協議会

<宮前区地域自立支援協議会の特徴>

- ① 保健福祉センターと相談支援事業所等を事務局とし、当事者の方、障害福祉サービス提供事業所、養護学校、療育センター、まちづくり協議会、社会福祉協議会と構成員が多岐にわたっています。現在、構成員は30名となっています。
- ② 検討課題を各専門委員会に分けて役割を明確にすることで活動を活発化させ、隔月1回の全体会で報告し情報を共有しています。
- ③ 全体会や専門委員会の進捗状況の把握と運営のため、保健福祉センター・精神保健福祉センター・基幹相談支援事業所・地域相談支援事業所による事務局会議を月1回～2回開催しています。

<今年度の目標と方向性>

- ・「暮らしやすさを一緒に考えていこう」を目標に取り組みます。
- ・支援者のみの視点での議論とならないよう、当事者が参加しやすいように、募集や参加の方法、会議の内容を検討します。
- ・専門委員会での活動については、昨年度の部会を引き継ぎ行います。専門委員会の中で出てきた課題は、全体で検討できるような機会を設けます。

○重度障害・高齢専門委員会

- ・日中活動事業所職員を対象とした実態調査を昨年度、実施しました。この調査から明らかになった生活課題をもとに、利用者の方が抱えている暮らしづらさについて聞き取り調査を行っていきます。
- ・地域包括支援センターとの継続した交流会や、研修・広報・交流専門委員会と連携し、活動の周知や、役立つ講座などを実施していきます。

○児童専門委員会

- ・具体的な不安の解消に向けて、家族を対象として勉強会の開催を検討します。
- ・教育関係者との連携を充実させていきます。
- ・ガイドブックの作成を行います。
- ・地域講演会への委員の参加を検討します。

○研修・広報・交流専門委員会

- ・「地域でくらす」をテーマにして研修や交流会、広報誌『ほっととらいあんぐる』の発行などをします。広報の仕方などを工夫し、より多くの方に来ていただけるような企画としていきます。

- ・ 自立支援協議会や相談支援事業所の活動を知ってもらうため、区民祭への参加など周知に努めます。
- ・ 昨年度に引き続き、障害者サポーターの内容を検討していきます。

＜今年度の区全体会議＞

- 第1回 5月21日（火）13：30～16：00
- ① 自己紹介
 - ② 今年度の取り組みについて
 - ③ 平成24年度 研修「住まいについて考える」の報告
 - ④ 平成24年度 重度高齢部会アンケートの結果報告
 - ⑤ その他
- 第2回 6月18日（火）13：30～17：00
各専門委員会活動日※専門委員会によっては別日に開催もあり。
- 第3回 7月16日（火）13：30～16：00
- ① 6月市自立支援協議会事務局会議報告
 - ② 当事者参加方法（案）について
 - ③ 各ワーキンググループについて
 - ④ 6月各専門委員会報告
 - ⑤ その他
- 第4回 8月20日（火）13：30～17：00
各専門委員会活動日※専門委員会によっては別日の開催もあり。
- 第5回 9月17日（火）13：30～16：00
- ① 市自立支援協議会事務局会議報告、依頼事項について
 - ② 区専門委員会周知事項について
 - ③ 下半期の予定や協力事項について
 - ④ 課題整理アンケートの協議について
 - ⑤ その他

＜今年度のその他の活動＞

- ① 平成25年7月31日（水）
宮前区児童家庭課と相談支援センターとの勉強会を実施。

＜具体的な取り組み内容＞

○全体会

- ・ 各専門委員会の報告と協議、市の自立支援協議会の報告などを行いました。
- ・ 課題を話し合う場として、グループにわかれ「防災」について意見交換を行いました。

○重度障害・高齢専門委員会

今年度は、日中活動サービスを使っている利用者・その家族に対して、昨年度明らかになった事柄以外にも広く生活の暮らしづらさについて、アンケート調査を行い、そのアンケート調査をもとに利用者と家族会に協力頂き、聞き取り調査を行いました。後期はこの調査結果について分析・考察を行い、日頃の生活の中で暮らしやすくするための工夫や改善できることなどを明らかにして、協力頂いた方々や広く市民に対して、発表の場を設け共有していきます。

○児童専門委員会

8月6日に、市内特別支援学校・特別支援学級夏期公開研修に専門委員メンバーが講師として参加し、「教育と福祉の連携」というテーマでお話しをしました。また、宮前区内の方が困った時に相談できる機関などを紹介するチラシを作成しました。今年度は、0歳児～3歳児を対象にして作りました。

○広報研修交流専門委員会

広報誌「ほっととらいあんぐる」を発行しました。今後の活動として、11月「区民祭の参加」、12月「地域交流会の開催」、2月「住まいについて研修会の開催」について企画し、準備を始めました。

多摩区地域自立支援協議会

<多摩区自立支援協議会の特徴>

- ① 今年度は新たに当事者 3 名、家族 1 名が加わり合計 7 名の当事者と 3 名の家族の方が全体会議と委員会に参加し活動しています。今年度から新たに当事者委員会を立ち上げ 2 カ月に 1 回を目安に集まることにしました。
- ② 各構成員が課題整理表に基づいたテーマ別に 4 つの委員会に分かれて活動しており、その活動内容は隔月に行われる全体会議で共有しています。

<今年度の目標と方向性>

今年度も昨年度に引き続き「地域の人とつながりをつくる」を、協議会全体のスローガンとしました。「地域の人」とのつながりには、具体的な対象や目的が必要と考え、各委員会の中で検討を行うこととしています。

委員会活動は、日中活動、ライフサイクル、災害、就労の 4 委員会を昨年度からの継続で設置し、新たに当事者委員会を立ち上げました。また、昨年度に麻生区と合同で行ったケアホーム、グループホームへのアンケートのまとめを引き続き行っています。(課題整理委員会をあらため課題整理とりまとめ係に変更し係内より担当を選出)

・各委員会の活動状況

- ① 日中活動委員会
軽度知的障害者の交流会を 2 回実施（通算 8 回め）、日中活動先の検討（主に区内近隣で入浴サービスを行っている事業所の実情を調査予定）
- ② ライフサイクル委員会
障害サービスを提供しているヘルパー事業所のつどいを 9 月 26 日の夜間帯（18 時～）に開催し現状等の情報交換を行う。これまで集まる機会がなかったとのことで、参加事業所からは今後も集まる機会を持ちたいとの声が上がっていた。
- ③ 災害委員会
自助、共助 公助、のうち今年度は共助に関する検討を中心に行っている。多摩区内で要援護者支援制度の取り組みを行っている地区の活動状況について今後話を伺う予定。
- ④ 就労委員会
就労についての視点の共有化。川崎市での就労支援の現状を計画課の滝口氏に講演してもらい、多摩区内で取り組みそうなことについて検討をしている。
- ⑤ 当事者委員会
新しい構成員が増え当事者同志お互いのことをもっとわかり合い、何かできることがあるのではないか、協議会の内容などでわかりにくい部分があれば確認する場として活用する時間にしてもいいのではないかということで立ち上げました。当初設定した

開催時間では、人数がそろわなかったため開催日等の検討から始め、意見交換を行い今後何を行うかは模索中。

＜今年度の区全体会議＞

隔月で、報告を主とした会議とグループ討議を主とした会議を行っています。

6月に、多摩区で生活するにあたっての困り感をグループに分かれて話し合いその結果から、グループ討議のテーマを決めることとしました。困り感を10のカテゴリーに区分けし、8月のテーマは「情報」10月のテーマは「すまい」、12月のテーマは「余暇」を予定しています。討議された内容は、課題整理取りまとめ係でまとめをして全体に報告しておりますが、今年度の体制上すぐに取りかかることは難しいため、次年度にむけて取り組みができるかどうかを検討する予定です。

- 第1回 4月2日（火）13：30～15：30 多摩区役所
今年度の自立支援協議会について
- ① 構成員自己紹介
 - ② 自立支援協議会について（手引きを引用し説明）
 - ③ 委員会 係について説明、希望表配布
- 第2回 5月7日（火）13：30～15：30 多摩区役所
各委員会に分かれて着席
- ① 川崎市地域自立支援協議会の体制の説明
 - ② 年間計画について
 - ③ 各委員会顔合わせ、今年度の代表者決め、開催日調整等。
- 第3回 6月4日（火）13：30～15：30 多摩区役所
- ① 各委員会・係名簿確認
 - ② グループ討議「地域での困り感を共有する」
KJ法を用い3グループに分かれて行う。
- 第4回 7月2日（火）13：30～15：30 多摩区役所
- ① 各委員会 係の報告
 - ② 6月のグループ討議のまとめを報告
 - ③ 川崎市自立支援協議会運営会議の報告
- 第5回 8月6日（火）13：30～15：30 多摩区役所
- ① 予算の使用方法について
 - ② グループ討議「情報」
- 第6回 9月3日（火）13：30～15：30 多摩区役所
- ① 各委員会・係の報告
 - ② 川崎市自立支援協議会運営会議の報告

<その他の活動>

① パサージュ・たまへの参加

- ・毎月1回、多摩区役所内1階連絡通路アトリウムにおいて啓発活動として障害者福祉施設、団体が紹介及び製品販売活動等を行っていますが、協議会でも広報を目的としパネル展示をしています。

② たまふれあいまつりへの参加

- ・毎年6月に多摩区役所内で開催される当イベントにおいて、パサージュ・たまと同様、広報を目的としてパネル展示や配布物を設置しました。

③ 広報誌「たまねっと」の発行

- ・毎年1～2回、区民に向けた広報を町会の回覧板を通じて行っています。
今年度は秋号を作成し印刷をする段階です。

④ 区自立支援協議会のパンフレットの作成

- ・レイアウトが完成し印刷まで終了しています。

⑤ ホームページの立ち上げ

- ・次年度の開設に向け検討を重ねています。

麻生区地域自立支援協議会

〈麻生区自立支援協議会の特徴〉

① 麻生区自立支援協議会の構成員について

相談支援事業所（4ヶ所）と保健福祉センターを中心に、障害福祉サービス提供事業所、就労支援機関、教育機関、障害者（児）の専門機関、区社会福祉協議会、地域包括支援センター、当事者からの参画を頂き、運営をしています。

② 麻生区自立支援協議会の実施状況について

運営会議（月1回）と全体会議（月1回）を実施しています。

そのほか、各委員会で適宜打ち合わせや企画を実施しています。

運営会議では、相談支援事業所、保健福祉センターや専門機関が集まり、全体会議で行う内容や委員会の取組について確認を行っています。

全体会議では、

①各委員会に分かれ、協議を進める月、

②支援経過検証、当事者委員の自己紹介等、協議会全体で麻生区の課題の検討や見聞を深める月、を交互に行っています。

〈今年度の目標と方向性〉

今年度の麻生区は、重点テーマとして、「麻生区の福祉ニーズについて、障害の各分野から支援経過検証を行い、麻生区の地域福祉の課題を整理していく。また、委員会の充実を図り、障害者（児）への支援をすすめていく」としています。

今年度は、川崎市相談支援事業再編に伴い、構成員が大幅に入れ替わっていますが、基本的には昨年度の体制を踏襲しつつ、実際の運営や活動を通して改善や提案を取り入れる様進めています。

〈今年度の区全体会議と部会系の活動について〉

第1回 4月17日（水曜日） 13:30～16:00 麻生区役所にて

◎新年度について 各構成員の自己紹介

◎区自立支援協議会各委員会の役割分担決め、今年度の活動方針の確認

（課題整理委員会 児童委員会 当事者委員会 広報啓発委員会）

第2回 5月15日（水曜日） 13:30～16:00 麻生区役所にて

◎麻生区地域自立支援協議会開催要項（案）読み合わせと確認

◎川崎市地域自立支援協議会設置要綱、区協議会運営要領、運営の手引き内容確認

◎市自立支援協議会事務局会議報告

◎各事業所からの近況報告、企画案内等

◎区自立支援協議会各委員会協議（協議後 参加者全員で協議内容の共有）

第3回 6月19日(水曜日) 13:30~16:00 福祉パルあさおにて

- ◎市自立支援協議会事務局会議、ワーキンググループ報告
- ◎区自立支援協議会各委員会報告
- ◎当事者構成員自己紹介
- ◎地域課題検討(金銭管理について)

第4回 7月17日(水曜日) 13:30~16:00 麻生区役所にて

- ◎市自立支援協議会事務局会議、ワーキンググループ報告
- ◎各事業所からの近況報告、企画案内等
- ◎区自立支援協議会各委員会協議(協議後 参加者全員で協議内容の共有)

第5回 8月21日(水曜日) 13:30~16:00 麻生区役所にて

- ◎市自立支援協議会事務局会議、ワーキンググループ報告
- ◎各事業所からの近況報告、企画案内等
- ◎支援経過検証(日中活動事業所における相談支援の担当者がいない方の支援について)
- ◎区自立支援協議会各委員会報告

第6回 9月18日(水曜日) 13:30~16:00 麻生区役所にて

- ◎市自立支援協議会事務局会議、ワーキンググループ報告
- ◎区自立支援協議会各委員会協議(協議後 参加者全員で協議内容の共有)

第7回 10月17日(水曜日) 13:30~16:00 麻生区役所にて

- ◎市自立支援協議会事務局会議、ワーキンググループ報告
- ◎各事業所からの近況報告、企画案内等
- ◎支援経過検証(家庭の支援が必要な児童だが、家庭からニーズが挙がってこないケース)
- ◎区自立支援協議会各委員会報告

〈部会・係取組報告〉

◎児童委員会

昨年度から引き続き、児童保護者のピアサポート活動を企画しています。今年度は、昨年の活動を振り返り、小学校特別支援級の保護者会の場で活動を行うこととなっております。すでに、ピアサポーターに対する研修を終え、今後2校でのピアサポート活動実施を行う予定です。

フローチャート作成については、現在素案を作成しており、年度内の完成を目標としています。

◎当事者委員会

麻生区では平成24年度に初めて当事者構成員の公募を行い、現在4名の当事者が参加しています。今年度は「互いを知る」ことを目的に、当事者構成員自己紹介を実施し、委員会内でも事業所紹介を行うなど、相互理解を図っています。麻生区では当事者構成員の人数を8名としており、規定人数の参加を目指して今年度も公募を行っているところです。今後は、当事者の参加形態も含めて検討していく予定です。

◎課題整理委員会

今年度は、平成24年度多摩区と共同で行ったGH・CH調査の集計及び分析を行っているところで、今年末の完成を目標としていましたが、検討や整理に時間を要する項目が多く、結果内容の充実を図る観点からも更なる検討期間を要している状況です。

これまでに出示された麻生区の課題を検討すること、最新の生活課題を知る機会として、昨年度に引き続き支援経過検証を行っているところです。具体的には、全体会議の場において、全体討議としてこれらのテーマを

提供し、課題の検討を行っています。

◎広報啓発委員会

今年度も民生委員児童委員協議会に出席し自立支援協議会の活動を紹介しています。今後、各地区の民生児童委員協議会にも出席して、地域との連携を呼びかけていく予定です。

広報誌については、11月頃今年度第1号を発行する予定です。今年度はあと1回発行を計画しています。

区協議会マスコットキャラクター「エール君」を、広報の各場面で取り入れ、協議会の区民に対する親しみやすさに努めています。

協議会参画事業所紹介小冊子の改定を進めていますが、今年度末の完成をめざし、現在作成作業を進めています。



文責： あさお基幹相談支援センター 淵上 正道